



# わかとりクラブ鳥取

～とっとり県老連だより～

第33号

■会員数 35,778人  
 ■クラブ数 755クラブ  
 平成29年4月現在  
 ■公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会  
 〒689-0201  
 住所 鳥取市伏野1729番地5  
 県立福祉人材研修センター内  
 TEL0857-59-6351 FAX0857-59-6340  
 http://www.fuumon.sakura.ne.jp



平成29年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会



来年7月、米子で成功させよう  
 中国・四国老人クラブリーダー研修会

鳥取県老人クラブ連合会  
 会長 沖田博敬

10年に1回まわってくる中国・四国ブロックリーダー研修会を平成30年7月12日(木)13日(金)の2日間、米子市皆生温泉の皆生グランドホテル「天水」で開催することになりました。

開催要綱には「生活を豊かにする活動」「地域を豊かにする楽しい活動」や友愛・奉仕・伝承・交流・環境美化・地域づくりなど「地域を豊かにする社会活動」を進めるために、老人クラブリーダーの資質を向上し、活動の充実をはかる！と呼びかけています。

研修会のテーマは①会員増強と若手会員の活動②健康づくり、介護予防③地域の支え合い活動、の3部構成。参加人数は中国5県と2政令指定都市、四国4県から各20人、開催県から50人となっており、地元鳥取県からは計70人の参加を予定しています。

参加費は1人3,000円。この他宿泊費、交流費は計15,000円です。  
 近年の開催県から「財源不足で運営困難」の声があり、5月に岡山で開かれた中国5県と指定都市の正副会長、女性委員長、事務局長会議で「30年度から参加費を

5,000円に値上げしよう」の提案があり、万場一致で了承しました。ところが、四国4県との連絡調整が出来ず不調に終わり、前述のようになった次第です。  
 そこで皆生での研修会では、県下各市町村の老人クラブ連合会に会員数に応じて負担金をお願いすることになります。

鳥取県や県共同募金会からの援助の要望もしておりますが、さらに研修記録書(約100ページ・500部)の協賛広告もお願いすることになりました。  
 会員の皆様から心あるスポンサーを見つけて協力を取り付けて下さい。お願いすることばかりですが、一番大切なことをもうひとつ頼みます。

それは研修会運営に当たってのボランティアです。約300人の仲間をもてなすためには、各県と同じように50人は必要です。  
 列車利用者のためにJR米子駅、貸切バス案内のために交差点などに、ガイドとして、やはり若手委員、女性委員の協力なくしてはできませんので、くれぐれもよろしく願います。

平成29年度

中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会報告

境港市ことぶきクラブ連合会

副会長 鷗鶴 一輔

研修会は平成29年6月29日から30日にかけて瀬戸内海に面した広島県呉市で参加者231名のもとに開催された。

この会の目的は、健康長寿社会の実現に向けて、各地の老人クラブリーダーが一堂に会し、日ごろの活動実績や問題意識の共有化を図り、相互に研鑽することにあるとしている。

基調報告は全老連常務理事・齋藤秀樹氏

○高齢者人口は8年後に高齢化率30%を超える。

○地域共生社会の構築が必須

○「百万人会員増強運動」の推進

○新地域支援事業参画への取り組み等を強調された。

分科会は3テーマで実施。

第1「のぼそう！健康寿命」

実践発表（岡山・広島・香川）

特徴としては様々な連携をもち、体操・ダンス・見守り活動

を重視し、活動の輪の中に会員外を呼び込んで、加入推進に努力している。

第2「担おう！地域づくりを」

実践発表（山口・徳島・愛媛）

地域の学校との連携で、子供とともに花や生き物・果物作りを通じて町おこしを進めている。

第3「がんばる！若手委員会」

実践発表（境港市川口会長・島根・高知）

若手の発想を生かし会員外、町外への活動も行い、魅力ある活動を重視し、会員増を図っている。

三本柱のテーマのもと討議がなされたが、貴重な提案に対し、討議の時間が少なく深まりが不十分であった。

分科会後の交流会では、地元民謡「音戸の瀬戸」。5年に一度の「清盛祭」を演じ、勇壮な声に圧倒された。講演は「呉の元気とは何か」戦艦大和を辿り話された。

総括のまとめでは「健康寿命を延伸しよう」「活躍できる地域づくりを」が提起された。閉

会式で次期開催地に鳥取県米子市でと発表され、鳥取県からの30名心を引き締めた。

平成29年度

中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会報告

若桜町老連

会長 坂本 等

1日目はまず全国老連常務理事・齋藤秀樹氏の基調報告。親切、世話をし過ぎると年寄り

弱くなる。リーダーとして社会活動をされた方は、褒美として長く患って亡くなる人が少ない。「100万人会員増強運動」に特効薬はない。キメ細やかに声がけ口コミで、老人クラブの良さを伝え、会員外でも参加できる事業を行うこと、と強調された。

分科会は事例発表。第1分科会のテーマは「のぼそう健康寿命」。老人が健康で楽しく過ごすことが出来る基軸は歩くこと。人と係われない生活は体力減、認知症につながる。健康寿

命とは、要支援、要介護にならずに生活できる状態をいう。歩行能力を伸ばそう、健康体操を続けよう。

2日目はいきいきクラブ体操の後、呉市海自歴史科学館「大和ミュージアム」館長・戸高一成氏の講演。演題は、「呉の元気・文化を発信する大和ミュージアム」。世界一の戦艦「大和」が呉で造られた。物は知識では造れない。経験や苦勞があつてできるもの。設計する能力、作る工員の能力、そして施設。この3つが必要であり、呉にはこれがあつた。大和の防御は46cmの砲丸。防御の思想が完璧設計だから、完璧を破られた場合を想定していなかった。名刀は抜かないから名刀であり、大和は

戦わない戦艦であったと締めくくられた。

全体会で総括があり、最後に次回開催地の沖田鳥取県会長がユーモアまじえて鳥取県を紹介された。カニ取県、妖怪がいっぱい。日本で一番住みやすい県etc。海から湯が沸く皆生温泉でお待ちしています、と。

大会運営のスタッフの皆さんの対応に不満はなかった。結構手前の交差点から会場への誘導、会場内での受付、次のセッションへの案内が徹底されていた。

来年は鳥取大会。開催地の心得はスタッフの心遣い、笑顔で対応すること。地理的なこと、特産品等想定外の質問にも対応できるようにしてほしい。

大会終了後、大和ミュージアムを見学した。1-10サイズの戦艦大和の模型、ゼロ戦や100人以上の青年の命を奪った特攻潜航艇(人間魚雷)等の実物に圧倒された。絶対に戦争は繰り返してはならない。子や孫に凄惨悲惨さを経験させてはならない。

### 各市町村の活動

## 仲間を増やそう

### 声掛けは同世代の人から

#### 鳥取市老ク連

会長 森田 秀雄

仲間を増やすには、普段から地域の様々な活動を通して1人ひとりの声掛けが第1です。それにはまず、話しやすい同年代の人から声を掛ける。最初から役員を押し付けない。地域の知恵袋として期待されていること。スポーツや旅行など楽しい活動を紹介する等々全会員が1丸となって、加入促進活動を進めようではありませんか。

### 「900人会員増強運動」

大啓発!

#### 米子市老ク連

会長 木村 定雄

本年度も昨年度同様キャンペーンを10月1日〜12月25日の3カ月間実施し、中海テレビ毎

日地域情報ch放映・市報・市社協だより・市老連新聞に掲載し、PR・啓発に努めると共に、全会員が結集し、「900人会員増強運動」の目標達成に取り組んでいます。

### 趣味を通して仲間づくり

#### 倉吉市老ク連

会長 小林 正樹

当連合会では趣味を通して、ふれあいや生きがいづくりのため、各種のクラブ教室の活動を展開しています。



歌謡教室



踊り教室

歌謡、大正琴、茶道、踊り、囲碁・将棋の5つの教室で、日ごろの練習とともに、福祉施設の慰問や交流会で当連合会の魅力アピールし、会員増強に努めています。

### ホームページの活用

#### 境港市寿連

会長 川口 昭一

平成29年5月からホームページの運用を開始しました。これからの若い人がスマホやパソコンで、我々の活動を知り、参加する動機づけになれば幸いです。思っています。行事が終わる度に更新をしています。「境港市ことぶきクラブ連合会」のホームページを覗いて下さい。

### 交通安全と特殊詐欺被害防止

#### 岩美町老ク連

会長 日下部 武志

最近、特に高齢者の交通事故と振り込め詐欺が多発している中で、私達は情報を得て自分たちで防止策を講じなくてはなりません。そのために各単位クラブで研修会を積極的に開催し、認識を深めひとりよりみんなで被害防止に努めています。

**単位クラブの充実を**

八頭町老ク連

理事 瀧田 修

市町村合併前の老人クラブは、地区や集落単位で奉仕活動、伝統行事の継承、親睦旅行などを通して交流し、会員の絆を深めていきました。

市町村合併後は老ク連組織が設立され、さらに成果を上げてきました。昨今、クラブの基盤となる単位クラブの活動が低調になりがちになってきました。最優先課題、「今」すべきこととして、単位クラブの活性化に向けて着手しているところです。

**それは詐欺だよ!!**

若桜町老ク連

会長 坂本 等

7月5日、単位クラブ会長・女性委員合同研修で若桜駐在所員から最近の事例等による分かりやすいお話を聞きました。

金にまつわる話は詐欺だと思

え。犯人は捕まっても金は返ってこない。判断能力、身体能力を自覚した運転（行動）を。安全運転が事故を防ぐ。田畑の畔草をその場で焼く以外は野焼き禁止。  
身近な課題で意見、質問が多かった。

**無理のない「地域活動」**

智頭町那岐福寿会連合会

会長 国政 隆昭

智頭町老人クラブの「福寿会」を紹介いたします。活動の基本は、「健康・楽しい・地域活動」の3つです。そして無理はしないが会のモットーです。会員増加に繋がる活動で、グラウンド・ゴルフ大会、ラダーゲッター競技、区民運動会の福寿会3部対抗リレーを行っています。また、親睦と見聞を広める「日帰り研修旅行」奉仕活動は、「お寺・お宮・駅舎」の清掃、伝承事業は、地元の小學生に「田植えと稲刈り体験」を伝承しています。福寿会では年3回「なぎ福寿会

だより」の広報誌を発行し、活動内容を全戸配布して、会員の募集に力を入れています。

**ペタンクで健康と国際交流**

三朝町老ク連

会長 山口 正明

毎年7月初旬、ペタンク大会を実施しています。暑い中で熱戦を繰り広げています。ペタンクは、三朝町が交流のあるフランス発祥のスポーツです。以前と比べて参加者が少なくなりま



したが、三朝町でペタンクをすることは意義のあることです。で、続けていきたいです。今後はフランスから赴任している国際交流員さんに参加してもらいたいことも考えています。

**支え合いはお互いさま**

北栄町老ク連

会長 西村 英昌



我が老ク連では支え合い活動を始めて3年目になりました。在宅訪問、困りごとに対する

相談受け付け・対応、サークル活動での仲間づくりなど各単位クラブで創意工夫を凝らして取り組まれています。

活動を通じて感じることは、人と人とのつながりが、いかに大事なことなのかを思い起こさせてもらえます。

「向こう三軒両隣り」の気持ちで互いに支え合っています。

### 休会クラブの対策

琴浦町高齢者ク連

会長 田中 明

休会単位クラブの増加に歯止めをかけようと座談会を開き、会報「ふれあい」に記載して、全家庭に配布いたしました。休会が増えている理由としては、熱心に世話をする人が高齢となり、次の世話をする人がいないこと。自分は頑張っていると誇りをもって行こう等話し合い、地域を支える大切な役割である事を認識しながら、高齢者クラブの活性化に取り組んでいます。

### 老人週間行事を楽しむ

南部町老ク連

会長 安達 幸男

今年も、講演、芸能大会を9月30日開催しました。講演は、



元NHKアナウンサー藤澤武様の「放送こぼれ話」を聴き、午後は女性部手作りのカレーライスを参加者全員がご馳走になり、そして会員18番の唄と踊りを楽しみました。会員増強に繋げて参ります。

### 只今、猛勉強中

伯耆町老ク連

若手委員長 有田 博美

今までたくさんの方に参加し、ただ楽しむだけでなく、若手委員になり、なぜ仲間を増やさなければならぬのか、どうしたら増やすことができるのか。改めて最初から猛勉強中です。

ひとまずの答えは、体も心（頭）も健康なまま、地域の人たちとともに老いていくということ。そのためには、みんなが集い、楽しむとともに、見守り活動などで、地域を守っていくことが重要です。様々なイベントを企画し、楽しみながら老人クラブの意義を広め、会員を増やしていくよう頑張ります。

### 共に作る安心の場

大山町老ク連

副会長 清見 久夫



当連合会には合併旧町による3支部の独自の活動があり、構成する単位クラブの様々な活動があります。会員の参加動機、組織への期待感は実に様々であります。

仲間たちの「安心のよりどころ」としての場を「共に作る」ことができればと願っています。

### 日野郡の歴史を紹介

日南町老ク連

会長 浅川 三郎

日野郡のタタラ製鉄は、近藤家が最後の鉄山師である。大阪に販路を開拓し流通を一手に握り、生産から加工、販売までを手掛けられた功績は実に偉大なものがある。

現在の六次産業化の見本である。





日野町老人クラブ連合会は、  
会長 生田 正明

**特殊詐欺撲滅の講習会**

る。資源を活用し資金を回転させることが経済の原則であり、人もその地域に集まって来る。地域活性化に必要な自然、森林、食料、水、歴史文化の資産を眠らせてはならない。  
特に、次の時代を創造するための人材育成は急務といえる。



江府町老ク連  
会長 三輪 貴憲

**各集落で詐欺防止講習**

平成29年10月19日、県消費生活センターからの協力を得て特殊詐欺を撲滅するための講習会（見守りカフェ）を開催しました。参加者がお茶を飲みながら、最近の事例を聞いたり、かるた取りや寸劇にも参加しました。

江府町老ク連では特殊詐欺の被害防止のため、各集落での講

**活動活性化助成事業**

平成29年度活動活性化助成金は、8月4日第1回基金管理運営委員会で審議され、別表のとおり助成されました。

市町村名	④新規会員・クラブ増		助成金 ④×@10,000 (円)
	会員増 5人以上	新規 単クラブ 設置数	
鳥取市	22	1	230,000
米子市		3	30,000
倉吉市	9	3	120,000
境港市	7		70,000
岩美町	3		30,000
八頭町	2		20,000
若桜町	1		10,000
智頭町			
湯梨浜町	2		20,000
三朝町			
北栄町			
琴浦町			
南部町	1		10,000
伯耆町			
日吉津村			
大山町	1	1	20,000
日南町	2		20,000
日野町			
江府町	3		30,000
計	53クラブ	8クラブ	610,000

習会の開催を呼びかけています。消費生活センターの取組みである「見守りカフェ」を紹介したところ、下安井集落老人クラブでは14人が参加して、電子マネー詐欺や還付金詐欺防止の講習会を開かれました。朗読劇を交え、お茶とお菓子を頂きながら楽しく実施されました。「テレビや防災無線で聞き、分かっているつもりでいても、だまされてしまう事件が多発しています。講習会で自分の言葉にして演技してみる体験は、予防につながると思います」と感想を寄せられました。

### 高齢者健康運動会

福釣り・玉入れなど競技を通して健康づくりや仲間づくりを東部・中部・西部会場で行いました。

**東部** 平成29年11月2日(木) 県民体育館 参加者 573人

**優勝**

ボールころがし

鳥取市河原チーム  
鳥取市河原チーム  
鳥取市河原チーム

**中部** 平成29年10月27日(金) 倉吉体育文化会館 参加者 530人

**優勝**

大玉ころがし 琴浦町Aチーム  
玉入れ 倉吉市Dチーム

**西部** 平成29年10月5日(木) 米子市産業体育館 参加者 931人

**優勝**

ホールインワン 日吉津村チーム  
ボール送り 伯耆町Aチーム  
玉入れ 日野町チーム  
大玉ころがし 日吉津村チーム  
応援合戦 最優秀賞 境港市



### 3地区で交通安全及び 高齢消費者被害防止 研修会

平成29年7月7日(東部地区)  
7月24日(中部地区) 7月28日  
(西部地区)の各地区の会場  
で研修会を行いました。参加者は  
東部地区103人、中部地区74  
人、西部地区131人でした。

講演は「高齢者の交通安全対  
策」と題して県交通対策協議会  
の高齢運転者安全運転推進員、  
綾木操氏による高齢ドライバー  
の交通事故防止や、道路の横断



中に交通  
事故に遭  
わないた  
めの話を  
していた  
だきまし  
た。東部  
会場では  
横断歩道  
の模擬装  
置を使用し、横断時に注意する  
点等教えて頂きました。



高齢消費者被害防止研修で  
は、各警察署員より「特殊詐欺  
の現状と被害防止対策につい  
て」と題して、最近増加してい  
る電子マネーやプリペイドカー  
ドを使用した手口などの被害に  
遭わないための対策をお話頂  
き、「心にも鍵をかけて大きな  
被害に遭わないように!」と注  
意喚起していただきました。

加齢に伴い、視力・聴力・認  
知判断力や筋力など、身体機能  
が変化し、また、長年の「習慣」  
で危険な行動とつてしまうこと  
も。交通安全の「加害者」にも  
「被害者」にもならないために、  
身体機能に応じた安全な行動を  
心掛けたいものです。

平成29年度

### 全老連会長表彰受賞者

全国老人クラブ大会

(京都府京都市)

平成29年10月18日～19日

### 【育成功労表彰】

沖田 博敬(鳥取県)  
松永 林造(境港市)

### 全老連活動賞

【その他の活動(会員交流)部門】  
・みどり2区コスモス会(北  
栄町)

### 県老連会長表彰

平成29年9月1日、県民総合  
福祉大会が倉吉未来中心で開催  
され、鳥取県老人クラブ連合会  
会長表彰の授与がありました。  
会長表彰の被表彰者は12名。受  
賞者代表で長谷川稔様に沖田会  
長から壇上で授与されました。

県老連役員名簿

(任期：平成30年定時総会  
終了時まで)

- 理事13名
- 会長 沖田 博敬
  - 副会長 中林 正樹
  - 副会長 古井 喜紀
  - 副会長 木村 定雄
  - 常務理事 前田 恵
  - 理事 竹内 準太郎
  - 理事 森田 秀雄
  - 理事 川口 昭一
  - 理事 山口 正明
  - 理事 黒田 隆弘
  - 理事 知久馬 二三子
  - 理事 加持谷 典範
  - 理事 岸本 国代
  - 監事2名 田中 潔
  - 監事 池原 昌司

広報委員

- 委員長 森田 秀雄 (鳥取市) 県老連理事
- 副委員長 吉田 齊 (八頭町) 県老連理事
- 委員 川口 昭一 (境港市) 県老連理事
- 委員 山口 正明 (三朝町) 県老連理事
- 委員 北村 隆雄 (倉吉市) 県老連理事
- 委員 安達 幸男 (南部町) 西部地区代表
- 委員 田中 陽子 (北栄町) 西部地区代表
- 委員 本池 重信 (米子市) 県老連若手委員

編集後記

皆様のクラブでは会員増強運動を工夫して展開されていますが、高齢者の増加にもかかわらず、思うような成果につながりません。来年度は冒頭に沖田会長が述べておられるように「中国・四国ブロックリーダー研修会」が米子市で開催されます。10年に一度の担当です。県民性の特徴を發揮して「親切・もてなし」をもって、「素晴らしい研修会だった」と評価いただけるよう、皆様と共に広報委員会として努力したいと思っております。

(副広報委員長・吉田齊)

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

回覧

	1 傷害保険 24時間型	2 傷害保険 活動型	3 賠償責任保険
ご自身のケガの補償	クラブ活動中 活動中以外	○ ○	○
相手の物・ケガの補償	クラブ活動中 活動中以外	○ ○	○
加入費	会員 クラブ	○注1 ○注1	○注2

注1 保険担当者を通じての加入となります。  
注2 クラブ全会員での加入が条件となります。

1 傷害保険 24時間型

自分がケガをした時の保険です。  
(病気および他人に与えたケガは対象外です。)



対象：老人クラブ会員に限り、年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入) ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。

補償範囲：「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」

掛金：(◇)24時間型 お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円  
(◇)活動型 お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

補償内容：死亡(後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ) / 入院保険金/手術保険金/通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

2 傷害保険 活動型

自分がケガをした時の保険です。  
(病気および他人に与えたケガは対象外です。)



対象：老人クラブ会員に限り、年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入) ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。

補償範囲：「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」

掛金：(◇)24時間型 お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円  
(◇)活動型 お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

補償内容：死亡(後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ) / 入院保険金/手術保険金/通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。  
(自分のケガは、対象になりません。)



対象：単位老人クラブ(全会員加入)

掛金：クラブの全会員数×100円(30名未満の場合は最低引受保険料3,000円)

補償範囲：○老人クラブ活動中の対人・対物(被損)の損害補償(自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外)  
○管理下財物(注)の盗難・紛失等(注)は裏面をご確認ください。  
○初期対応費用・訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)付帯  
但し、往後以上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

支払限度額：1億円(詳細は裏面をご確認ください)  
※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が決定いたします。

保険期間：毎年10月1日から1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償保険専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。加入時に会員名簿の提出は必要ありません。(裏面の引渡条件をご確認ください。)

中途加入：「中途加入」お申し込みは加入クラブに限り、全員の加入は不可です。  
※「中途加入」は毎月1日または2日からの加入となります。但し、保険期間は加入月の1日から直前の10月1日までとなります。  
※「加入クラブにおける全会員追加加入」届出および掛金は加入日に限り不要です。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係 03-3597-8770

加入申込書、資料請求先 専用FAX 03-3597-8767

ホームページ <http://www.senior-ld.com/> (老人クラブ連合会) メールアドレス [hoken@senior-ld.com](mailto:hoken@senior-ld.com)

〒100-6322 東京都千代田区千代田3丁目6-14 三友ビル102号

(取扱代理店) 石巻会社 シニアサービス TEL 03-3597-8769 (引渡幹事保険会社) 東京海上自動車火災保険株式会社(担当) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL 03-3515-4144 17-200566 平成29年4月現在

この機関紙は共同募金の助成を受けています。